

茨中・茨高には私たちの関心を引きつける授業や課外活動が数多くあります。理科の授業では、解剖や化学実験など、教科書だけでは得られない体験を通して理解を深める事ができます。さらに、多様な経験を持つ先生方の授業はとても興味深く、教科書的な内容だけでなく、さらに専門的で本質的な部分や社会とのつながりについても学ぶ事ができます。中でも印象に残っているのは、化学の授業で人体や医療技術について教えていただいたときです。私たちが高校で学ぶような細かな知識が結びついて、人体の複雑な仕組みの一部分だけでも理解できるということに驚きと面白さを覚えました。私が今大学でさらに専門的な知識を学び将来医療技術の開発をしたいと思っているのも、この経験が大きなきっかけの一つです。

私の6年間の思い出は、部活動です。私は中学1年生から高校3年生までの6年間、水泳部に所属しました。競泳を全く知らないまま入部し、初めて大会に出場した際には、レベルの高さと独特の緊張感に圧倒されたことを覚えています。それまで勉強に力を入れてきた私にとって、スポーツに全力で打ち込む人たちの姿は新鮮で、自分の知らなかった世界があることを実感しました。その後、幅広い学年の部員と関わりながら活動をする中で、泳ぎ方の技術だけでなく、部を1つの集団としてまとめる難しさと面白さ、そして沢山の人とコミュニケーションを取りながら活動することの楽しさを学びました。この経験はこれからの人生においても大きな糧になると感じています。

茨中・茨高の良いところは、わからないことや困ったことがあったときに気軽に先生方に相談できる環境が整っている事です。茨中・茨高には指導力のあるベテランの先生から親しみやすい若手の先生まで様々な先生方がいらっしゃり、授業を担当していない先生にも相談する事ができます。わからない問題については、私が納得できるまで幅広い知識を踏まえて丁寧に教えていただき、質問に行くたびに理解が深まっていくのを実感しました。また、モチベーションの高い仲間と励まし合いながら生活できるところも本校の大きな魅力だと思います。特に高3の受験期にはみんなで教室に残って勉強し、辛い時期も分かち合える仲間にも何度も助けられました。

大学進学後は、茨中・茨高での経験を活かし、意欲的に大学での学びに励みたいと思っています。将来は、エンジニアとなり医療技術の開発に携わり、人の役に立てるような存在になりたいです。